

令和4年度第2回小鹿野町総合教育会議会議録

開催日時 令和5年2月20日(月) 午前11時
開催場所 両神ふるさと総合会館 研修室A
開会時刻 午前11時00分
閉会時刻 午前12時06分

出欠席状況

町長	森 真太郎	出席
教育長	武藤 彰 男	出席
教育委員	宮原 正 博	出席
	中山 忍	出席
	近藤 正	出席
	石田 加津美	出席

その他会議に出席した者

社会教育課長	高 橋 豊
学校教育課長	南 徳 秀
学校教育課主任	岩 本 直 樹
総務課長	新 井 昇
総務課副主幹	上 井 一 人

傍聴者 なし

会議録署名 武藤 彰 男

日程

- 日程第1 会議録署名委員の指名
日程第2 議 事
(1) 令和5年度教育委員会の主要な事業等について
(2) その他

会議の進行状況及び顛末

開会 午前11時

町長 あいさつ後、令和4年度第2回小鹿野町総合教育会議の開会を宣言する。

次に歳出でございます。令和5年度のグラフを見ていただきますと、学校管理費（小学校）という部分が多くなっています。これにつきましては、施設整備費の工事が多くなったために、この部分の占める割合が多くなりました。令和4年度と令和5年を比べての総額での差額が、今年度プラスで1億6207万8000円プラスになっております。増えた1億6207万8000円ですけれども、何が多く増えたのかって言いますと、1つ目が学校情報システム基盤整備事業、こちらにつきましてはアクセスポイントの設置やタブレットの学習ソフト、そういったところが令和5年度は増えております。次に学校運営費でございます。令和5年度は2600万ですけれども、令和4年度と比べて1000万増えております。こちらはにつきましては光熱水費が増えております。特に電気料がすごく上がっていますので、そちらの部分が計上されております。3点目が学校施設整備費、こちらの増額が1億5100万円ということで、こちらが小学校等の学校施設の整備工事費となります。しかし、ただ増額するだけではなく1個1個の事業をかなり見直しまして減額もしております。必要なところに掛けさせていただきました。

それではピックアップさせていただいた小鹿野小学校校庭改修工事でございます。予算額は6700万円です。工事内容につきましては、主に校庭の砂を入れ替えるという工事になります。校庭の水はけがすごく悪い状況になっております。今回統合校になるということで校庭の砂を入れ替えさせていただき、水はけのよいグラウンドになると考えております。長若小学校、三田川小学校、両神小学校、そして小鹿野中学校については既に校庭改修を終えていますので、小鹿野小学校のみが残っていたということでございます。これにつきましては、統合を見据えて小鹿野小学校が最後になったと聞いております。今回統合が決まりましたので、こういった工事をさせていただきたいというふうに思います。この砂の入れ替えと同時に、校舎の南側から東側のフェンスの交換もさせていただきます。それから同時に砂場と鉄棒、バックネットも交換させていただきます。工事については、どうしても工事額が大きくなりますので、一般競争入札ということになります。令和5年度になりましたら夏休みの間で工事を終了させたいと考えております。

続いて、小鹿野小学校西側町道改良工事の設計委託（建設課）でございます。令和5年度に測量と設計の委託を行いま

す。こちらは建設課が中心になって行っていただくわけでございます。工事内容につきましては町道の拡幅、それと同時にスクールバスの発着場、来校者の駐車場を15台分設置するという予定になります。統合しますと、スクールバス8台予定しているわけですが、体育館側と西側町道の発着所でスクールバスの安全運行に努めたいということで、このような計画をしております。予算額は2000万を予定していただいております。令和5年度につきましては測量と設計の業務委託をしていただき、令和6年度に工事を実施したいと考えております。

続いて、旧倉尾小学校校舎・プールの解体工事でございます。令和3年度に倉尾地区で地域説明会をさせていただきました。大方はご了承いただいとこちらとしては捉えております。老朽化した公共施設、これからも解体していくことになるかと思っております。今年度につきましては両神中学校の裏にあるさわやか相談室も解体させていただきました。倉尾小学校は平成16年に小鹿野小学校に統合し、それ以降は倉庫として活用したりしてはございましたが、やはり老朽化したということで物品等も両神中学校に移して解体となります。

続いて学校総合事業費として96万1000円を計上させていただきました。統合準備委員会の開催、それから4校の小学校の交流事業にお金をかけさせていただきます。統合のスケジュールについてですが、8月の時点で統合の方針、それから計画を教育委員会で決定していただきまして9月の議会全協で説明、統合準備委員会第1回の準備委員会を10月の27日に開催をさせていただきました。その流れの中で現在は各部会の中の班会議を開催をしているところでございます。第2回の総務班会議が2月14日にありました。本日2月20日に第1回のPTA部会ということで、班の協議結果の事項について検討をする予定でございます。その後総務部会を行い、第2回の統合準備委員会を3月16日に経た後、教育委員会で統合準備委員会検討事項について決定をしていく流れでございます。本日決まって3月の23日ということになります。3月23日を経て、町民それから保護者等に決まった内容をお知らせさせていただく予定でございます。この統合準備委員会からの班会議、それから部会、これらにつきましては適宜開催をさせていただく予定でございます。

それからもう一点、交流事業の関係です。3年生4年生が中心になりますが、交流事業につきましては神川げんきプラザでアドベンチャー教育とかカレー作りを行います。それから神怡館を使ってのボルダリング体験交流会、そういったところを考えております。

統合準備委員会の開催費につきましては、会議のお茶代、委員への謝礼、その辺のところの予算になっております。

次に、おがの輝きスクール設置ですが、これは適応指導教室ということで24万円の事業費でございます。こちらにつきましては、旧長若中学校が長若集学校としてリングロー株式会社という会社に活用されております。その一室をお借りしまして、おがの輝きスクールという名で、適応指導教室として活用していきたいというものでございます。現在不登校の児童生徒や、教室に入れない生徒が対象になるわけですが、そこでの学習や居場所としての支援をしていきたいと考えているところでございます。これにつきましては、詳細についてはこれからいろいろ詰めていくことはあるわけですが、そういったことを教育委員会として令和5年度に取り組んでいきたいということをご報告させていただきたいと思っております。指導者につきましては、スクールソーシャルワーカーとか学校教育指導員、それからフレンドリー相談員、こういった方が指導者になり、そこにはリングロー株式会社の職員にもご協力をいただきます。見込める成果としては、不登校傾向の児童生徒にとっての学校・居場所ができる。小学生・中学生が交流しながら学べる。リングローの事業に参加する町民との交流が可能になる。それから最後に、リングローの持っているITCの技能を活用した学習が可能になる等、こういった色々な取り組みが出来たら良いなというところで来年度予算化をさせていただいております。旧長若中学校一室の貸出料ですが、月2万円という貸し出し料になりますので、その12ヶ月分ということで、24万円も予算額になっております。学校教育課からは以上です。

町 長

ありがとうございました。

続きまして社会教育課長から説明をお願いいたします。

社会教育課長

はい、社会教育課の来年度の主な事業を説明をさせていただきます。大きなこととしましては2点ほどあります。

まず1点目が、社会教育課を生涯学習課に変更することですが、皆さんからご意見をいただきまして、名前が変わっただけにしないようにということでもございました。我々も、そういったことのないように生涯学習課になって充実した生涯学習の機会が提供できていると思っただけのような事業展開をしていきたいと思っておりますので宜しく願います。

それともう1点、おがの化石館の管理の所管外でございます。これにつきましては、現在おもてなし課が管理しておりますが、令和5年の4月から教育委員会に所管外となります。こちらにつきましても生涯学習課となるわけですが、生涯学習の場として活用できるような方法を検討して事業展開をしていきたいと思っておりますので、ご指導ご協力をよろしく願います。

それから予算面に移らせていただきます。予算面として今年度から大きく変わった部分の説明をさせていただきたいと思っております。社会教育総務費としまして、その中にあります生涯学習まちづくり推進事業費というのがございます。こちらは、今まで総合政策課の所管でありました地域おこし協力隊の2名分の予算措置をさせていただいております。この2名は、生涯学習の分野の方、それから地質や生物分野の方が配属となります。そちらの方々のお力もお借りしながら、学習機会の成長の部分に力を入れていきたいと思っております。この2人の地域おこし協力隊につきましては、交流人口等の拡大というようなことで採用していただいております。そういった本人達が活動を考える交流人口の拡大という部分も含めまして、そういった事業展開を考えていきたいと思っておりますので、ご指導いただければと思っておりますのでよろしく願います。それから生涯学習施設等管理費の部分につきましては、おがの化石館の維持管理費というものが教育委員会の管轄になりました。そちらの約1000万ほどの予算の中で、展示ケース約200万円ほどを考えております。中の展示物等も検討しまして、生涯学習の機会が提供できるふさわしい施設になれるよう事業展開をしていきたいと思っておりますのでよろしく願います。それから文化財保護費の中に指定文化財の管理というものがございます。こちらにつきましては、新年度に札所32番法性寺の鐘楼門の修理費を考えております。修理費全体は、3400万円ほどかかるような見積もりをいただいております。町の

補助金が2分の1補助というような制度がございます。そちらの制度を活用しまして、2分の1補助できればということで予算計上をさせていただいているものでございます。それから歌舞伎のまちづくり事業費ということで、こちらの事業費の中に小鹿野町民歌舞伎劇場というのを今年度予算計上しております。小鹿野庁舎の新庁舎が出来上がりました落成記念として、8月頃に町民歌舞伎劇場ということで実行委員会を組織しまして、運営をしていきたいというような考えでおります。こちらにつきましては、この実行委員会に約1500万円ほどの補助をさせていただいて、そちらの実行委員会で歌舞伎劇場を招致して行っていきたいと考えております。それから、ふるさと総合会館費としまして、こちらの建物の空調設備を順次整理をしているところですが、残っております2階の空調機、これは主に図書館の中になります。こちらの図書館の中の空調設備の入れ替えの工事になります。約1400万円ほどかかるんですが、こちらの予算計上させていただいております。以上、今年度から来年度に向けて主に変わる部分を説明をさせていただきました。

町 長

ご苦労様でした。

ただいま両課長から令和5年度の教育委員会所管の主要事業についてのご説明をいただきました。これについてご質問ご意見等ございましたら委員さんの方から頂戴できればと思いますので、よろしく願いいたします。

町 長

補足で少しお話ししますと、旧長若中学校をリングロー株式会社に貸し出すことが、議会の承認をいただいて決定しております。実は明日、包括連携協定により具体的な事業内容の展開についての包括連携協定なんかも向こうの社長さんに来ていただいて結ぶ予定でございます。まだ具体的にリフォームもまだしてないんですけども、そういった協定を結びながら5年度に順次いろんな校舎のリフォームも行い、より町民の方が集まりやすいような空間整備も行っていくというようなことでございます。その一環で来年度は教育委員会としては輝きスクールを設置してみたいということでございます。

近藤委員 今の件で、輝きスクールの設置目的に学校に登校できない児童生徒が対象ということなんですが、現状どのくらいの方が居て、コロナの影響での増減があるのでしょうか。

町 長 学校教育課長お願いします。

学校教育課長 はい現状ですが、現在行っている適応指導教室というのがありますが、そちらは、ふるさと総合会館で行っております。そちらには1名の方が来ております。ただ今現在不登校と言われてる方は10名程度いらっしゃいます。そういった方が、こういったところに参加できたらすごくいいなと思います。また教室に入れない子も居ますので、そういった子も来ていただいて、みんなとしっかり交流できたらすごくいいことなんじゃないかという事で、教育長の発案で計画できました。

近藤委員 なるべくそういう子も取り残さないで、全員で卒業できるような体制を作るために是非よろしくお願いします。

町 長 それから少し補足しますが、社会教育課の歌舞伎のまちづくり事業の関係で町民歌舞伎劇場がございまして、これはプロの大歌舞伎の役者を招致して、子供たちにいろんな歌舞伎の面白さ、楽しさ、そういったものを紹介したり、また町民の方にそういう鑑賞の機会を与えるということで予定をしております。役者については、一応仮予約してあるのが尾上松也さんという有名な役者です。

中山委員 先ほどのおがの輝きスクールなんですけれど、その適応指導教室っていうのはどのような指導しているのでしょうか。あと課題がありましたけど、その課題は改善されるのにどのくらいかかるのかお願いします。

学校教育課長 どのような指導内容をしてたかについてはちょっとわかりませんが、その課題の方だけちょっと先に申し上げさせていただきます。登下校の送迎につきましては町営バスを使っているの登校だとか保護者の送迎、そういったところを考えております。町営バスの丁度良い時間帯のバスが、長若集学校前で9時32分に到着する。それから西武秩父駅を出発してのバスが15時

3分に集学校前を通るということで、町営バスを利用していただいたらいいなと考えております。指導者の確保につきましては、先ほど申し上げましたが、SSW、学校教育指導員、フレンドリー相談員、とりあえずこの方たちで始めていきながら、状況を見ながら検討して行くような形をとらせていただきたいと思います。それから通信環境の整備、PCだとかプリンター、それから電話機ですね。電話は各学校で余っているものを持っていく。プリンター等については、余ってるプリンターを1台を確保してそれを持って行く。PCについては、今現在使っているタブレット端末を活用させていただく。空調設備についてこれはエアコンです。リングローの計らいで、リングローで回収をしたエアコンを教室に付けていただけるということになりました。それから火曜日、水曜日の定休日の関係ですけども、これも話し合いの中で、鍵を借りておいてこちらで対応してすることで相談の方はついております。

教育長

内容についてですが、適応指導教室は時間割や教科はありません。その子が抱えている課題に対して柔軟に対応しております。本町でやりたいのは、本人がやりたいことを聞いて、その子の沿った内容のプリントや資料を用意してやっております。適応指導教室という名称について国でも検討を進めており、自治体で名称を決められることになっております。また、この教室に来ていれば学校が出席となります。長若集学校であれば学校と違って他の児童や生徒もいませんので、すごく行きやすくなると思います。また、不登校を文部科学省が改めまして、学校に行くようにするのではなく、いかに社会と繋がっていかせるか、そういう力を付けてもらいたいと、このようになっております。地域に根差したリングローの方針にもマッチするというところで、リングローが企画したイベント等にも参加できることとなっております。今年の5月ぐらいに見学会っていうの呼び掛けて、保護者、児童生徒に来てもらって、別に不登校だけでなくも課題を抱えたり心配な方に見学会に来ていただいて、実際に見ていただければと考えております。そんな方向で進められればいいなと思っております。

町長

それから意見じゃないんですけど、小学校統合で4校1校になりますので3校が空きます。その3校をどうに利活用する

か、それも大きな課題にもなってきております。まだ三田川中学校も決まっております。

近藤委員

三田川中学校利用してのCM撮影も増やしてもらったり、撮影場所として利用していることを町民の人が知らないパターンが多いので町民に知らせていただいた方が良いでしょう。

学校教育課長

本当にかかなりの数の撮影が来ております。コロナの影響で撮影は一時止まりましたけれども、令和2年度は使用料が170万円くらい上がりまして、30日間くらいは使っていただいたという実績がございます。

町長

次に旧長若中学校の関係ですが、長若中学校の校舎はリングローに交流拠点を作ってもらおうということなんですけども。校庭は広いものがありまして、これについていろいろ議論を深めてるところなんですけども、その校庭を町として宅地分譲しようということで、その予算を計上する予定です。これから議論が沸騰するかもしれませんが、地元の方にもかなり説明しております。宅地化して、定住者もそうなんですけども、移住の方にも提供できて、町主体でその分譲事業をやりたいと考えております。できれば何かセットで分譲と合わせてソフト事業を組み合わせ、移住者ですとか定住等、また町内の若い人が家を作るという人に非常に有利な条件で宅地分譲ができればということで来年度予算計上しようとして進めております。非常に長留地区はポテンシャルが高い地域です。人口そんな急に減っておりません。若干減ってはおりますが、三田川地区とか倉尾地区と違って、急激な減少が少ないエリアでして、これからも交通の面でも、長尾根のトンネルもできますので、駅へのアクセスも近いですし、そういう意味でポテンシャルが高いエリアです。校庭は町有地であり借地ではないので、非常にやりやすい事業かなと思っております。

宮原委員

今町長が言われた事業はすごくいいなと思いますし、今日の会議の中で一番ポジティブな気持ちになった気がしました。

宮原委員

今日説明をしていただいた中で、やっぱり限られた予算の中で、来年度4年度から来年度に向けてどう見直しそうかってい

う焦点化の説明をしていただいたんで、その学校教育課の事業については、不要な部分はできるだけ見直しやカットをして、必要な所に思いっきり予算を付ける計画をされているんだなと思って、良かったと思います。そして先ほどから出ている、おがの輝きスクールの話しが包括提携契約とリンクしてることもよく分かりました。それから社会教育課の方については、歌舞伎のことを先ほど町長が補足されてましたけれども、ここはこれから具体化していくために化石館のことと合わせてビジュアル化して目を引くような表示をしたりしながら、このところにちょっと力を入れていただくといいかなっていうのを、高橋課長説明を拝聴する中でそういった感想を持ちました。町長補足ですが、化石館の関係で開館のリニューアルと併せて、ようばけの周辺を県の方で整備プランを立ててくれるということで、町と一体となってやりましょうということで、あの辺一帯を化石館とようばけ、その周辺を一体的に整備しようというプランで動いております。地元の奈倉地区も環境美観地区として、それ以外の奈倉エリアも散策できるような構想を練っております、その第1弾として町の指定文化財である奈倉館跡の公園化事業を始めております。

石田委員

先程町長さんのお話しの小学校の統合の関係ですが、議会の全員一致でということでもいい動きをしています。小学校友達は新しい仲間増えるということで、町全体の小学校生活ということになりますので、その辺の交流事業ですとかソフト面でもある程度予算をいただいているようですので、是非そういうところは教育委員会の事務局の方あるいは現場の先生方に頑張ってもらって、子供たちが期待を持って、入ってから不安を本当に取り除くような形で統合ができればいいなと思いました。

町長

生涯学習課の中央公民館の事業でも、結婚対策の事業を進めていく努力されてるんですけども。もう少し拡充していってもらおうとよりいいのかなと思っております。

以上で総合教育会議を終了

閉会 午後12時06分

上記会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

令和5年3月23日

教育長 氏 藤 章 男
